



ロールベースの CLI アクセス

ロールベースの CLI アクセス機能を使用すれば、ネットワーク管理者は「ビュー」を定義できます。ビューは、Cisco IOS EXEC コマンドおよびコンフィギュレーション (config) モード コマンドへのアクセスを精選したり部分的に制限する、操作コマンドと設定機能のセットです。ビューは、Cisco IOS Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) と設定情報へのユーザ アクセスを制限します。つまり、ビューは、どのコマンドを受け入れて、どの設定情報を表示するかを定義できます。したがって、ネットワーク管理者はシスコ ネットワーキング デバイスへのアクセスを柔軟に管理できます。

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。この章に記載されている機能の詳細、および各機能がサポートされているリリースのリストについては、「[ロールベースの CLI アクセスの機能情報 \(P.14\)](#)」を参照してください。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォーム、および Cisco ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

この章の構成

- 「[ロールベースの CLI アクセスの前提条件](#)」 (P.2)
- 「[ロールベースの CLI アクセスの制約事項](#)」 (P.2)
- 「[ロールベースの CLI アクセスに関する情報](#)」 (P.2)
- 「[ロールベースの CLI アクセスの使用方法](#)」 (P.3)
- 「[ロールベースの CLI アクセスの設定例](#)」 (P.9)
- 「[その他の参考資料](#)」 (P.12)
- 「[ロールベースの CLI アクセスの機能情報](#)」 (P.14)

ロールベースの CLI アクセスの前提条件

イメージで CLI ビューをサポートする必要があります。

ロールベースの CLI アクセスの制約事項

合法的傍受イメージの制限

CLI ビューは Cisco IOS パーサーの一部であるため、すべてのプラットフォームと Cisco IOS イメージの一部でもあります。ただし、合法的傍受ビューは、合法的傍受サブシステムが組み込まれたイメージ内でしか使用できません。

許可されたビューの最大数

1つの合法的傍受ビューを含む CLI ビューとスーパービューの設定可能な最大数は 15 です (これには、ルート ビューは含まれません)。

ロールベースの CLI アクセスに関する情報

- 「CLI ビューを使用するメリット」 (P.2)
- 「ルート ビュー」 (P.2)
- 「合法的傍受ビューについて」 (P.3)
- 「スーパービューについて」 (P.3)
- 「ビュー認証と新しい AAA アトリビュート」 (P.3)

CLI ビューを使用するメリット

ビュー：詳細なアクセス コントロール

ユーザは権限レベルとイネーブル モード パスワードの両方を介して CLI アクセスを制御できますが、これらの機能では、ネットワーク管理者に Cisco IOS ルータとスイッチを操作するのに必要な詳細レベルが提供されません。CLI ビューは、より詳細なアクセス コントロール機能をネットワーク管理者に提供するため、Cisco IOS ソフトウェア全体のセキュリティとアカウントビリティが向上します。

Cisco IOS Release 12.3(11)T 以降では、ネットワーク管理者が、ビューへのインターフェイスまたはインターフェイス グループを指定することもできます。そのため、指定されたインターフェイスに基づくアクセスが可能になります。

ルート ビュー

システムが「ルート ビュー」になっている場合は、レベル 15 権限を持つユーザとして、すべてのアクセス権限が付与されます。管理者がシステムのビュー (CLI ビュー、スーパービュー、合法的傍受ビューなど) を設定する場合は、システムをルート ビューにする必要があります。

レベル 15 権限を持つユーザとルート ビュー ユーザの違いは、ルート ビュー ユーザは、新しいビューを設定したり、ビューに対してコマンドを追加または削除したりできることです。また、CLI ビューでは、ルート ビュー ユーザがそのビューに追加したコマンドにしかアクセスできません。

合法的傍受ビューについて

CLI ビューと同様に、合法的傍受ビューは、特定のコマンドと設定情報へのアクセスを制限します。具体的には、合法的傍受ビューを使用すれば、ユーザは、コールとユーザに関する情報を保存する Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コマンドの特別なセットである TAP-MIB 内に保持された合法的傍受コマンドへのアクセスを保護できます。

合法的傍受ビュー内で使用可能なコマンドは、次のカテゴリのいずれかに属します。

- 他のビューまたは権限レベルでは使用不可にすべき合法的傍受コマンド
- 合法的傍受ユーザにとっては有効であるが、他のビューまたは権限レベルから除外する必要のない CLI ビュー

スーパービューについて

スーパービューは、1 つ以上の CLI ビューで構成されています。このビューでは、受け入れるコマンドと表示する設定情報を定義できます。スーパービューを使用すれば、ネットワーク管理者は、複数の CLI ビューをユーザグループに割り当てなくても、設定された CLI ビュー内のすべてのユーザをスーパービューに割り当てることができます。

スーパービューには次の特性があります。

- CLI ビューを複数のスーパービュー間で共有できます。
- スーパービューにはコマンドを設定できません。つまり、CLI ビューにコマンドを追加してから、その CLI ビューをスーパービューに追加する必要があります。
- スーパービューにログインしたユーザは、そのスーパービューに属している CLI ビューに設定されたすべてのコマンドにアクセスできます。
- スーパービューごとにパスワードが設定されます。このパスワードは、スーパービューを切り替えたり、CLI ビューからスーパービューに切り替えたりするために使用されます。
- スーパービューが削除された場合は、そのスーパービューに関連付けられたすべての CLI ビューも削除されます。

ビュー認証と新しい AAA アトリビュート

ビュー認証は、新しいアトリビュートの「cli-view-name」を介して、外部の Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、およびアカウントリング) サーバで実行されます。

AAA 認証は特定のユーザに 1 つのビュー名のみを関連付けます。つまり、認証サーバ内の 1 人のユーザに対して 1 つのビュー名しか設定できません。

ロールベースの CLI アクセスの使用方法

- 「CLI ビューの設定」(P.4) (必須)
- 「合法的傍受ビューの設定」(P.6) (任意)
- 「スーパービューの設定」(P.7) (任意)
- 「ビューとビュー ユーザのモニタリング」(P.9) (任意)

CLI ビューの設定

このタスクを実行して、CLI ビューを作成し、必要に応じて、コマンドまたはインターフェイスをビューに追加します。

前提条件

ビューを作成する前に、次のタスクを実行する必要があります。

- **aaa new-model** コマンド経由で AAA を有効にします。
- システムが権限レベル 15 ではなく、ルート ビューになっていることを確認します。

手順の概要

1. **enable view**
2. **configure terminal**
3. **parser view *view-name***
4. **secret 5 *encrypted-password***
5. **commands *parser-mode* {include | include-exclusive | exclude} [all] [interface *interface-name* | *command*]**
6. **exit**
7. **exit**
8. **enable [*privilege-level*] [view *view-name*]**
9. **show parser view [all]**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable view 例: Router> enable view	ルート ビューを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、権限レベル 15 パスワード (ルート パスワードなど) を入力します。
ステップ 2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	parser view <i>view-name</i> 例: Router(config)# parser view first	ビューを作成して、ビュー コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ 4	secret 5 <i>encrypted-password</i> 例: Router(config-view)# secret 5 secret	CLI ビューまたはスーパービューとパスワードを関連付けます。 (注) このコマンドを発行しなければ、ビューのその他のアトリビュートが設定できません。

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ 5 <code>commands parser-mode {include include-exclusive exclude} [all] [interface interface-name command]</code></p> <p>例: Router(config-view)# commands exec include show version</p>	<p>ビューにコマンドまたはインターフェイスを追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • parser-mode : 指定されたコマンドが存在するモード • include : ビューにコマンドまたはインターフェイスを追加して、新しいビューに同じコマンドまたはインターフェイスを追加できるようにします。 • include-exclusive : ビューにコマンドまたはインターフェイスを追加して、同じコマンドまたはインターフェイスを他のビューに追加できないようにします。 • exclude : ビューからコマンドまたはインターフェイスを除外します。つまり、顧客はコマンドまたはインターフェイスにアクセスできません。 • all : 同じキーワードで始まる特定のコンフィギュレーションモード内のすべてのコマンド、またはビューの一部として指定されたインターフェイスのすべてのサブインターフェイスを許可する「ワイルドカード」 • interface interface-name : ビューに追加されたインターフェイス • command : ビューに追加されたコマンド
<p>ステップ 6 <code>exit</code></p> <p>例: Router(config-view)# exit</p>	<p>ビュー コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
<p>ステップ 7 <code>exit</code></p> <p>例: Router(config)# exit</p>	<p>グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
<p>ステップ 8 <code>enable [privilege-level] [view view-name]</code></p> <p>例: Router# enable view first</p>	<p>ユーザにパスワードの入力を要求します。このパスワードは、設定された CLI ビューへのアクセスをユーザに許可し、ビュー間の切り替えに使用されます。</p> <p>正しいパスワードが入力されたら、ユーザはビューにアクセスできます。</p>
<p>ステップ 9 <code>show parser view [all]</code></p> <p>例: Router# show parser view</p>	<p>(任意) ユーザが現在使用しているビューに関する情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • all : ルータ上で設定されたすべてのビューに関する情報を表示します。 <p>(注) このコマンドはルート ユーザと合法的傍受ユーザの両方が使用できますが、all キーワードはルート ユーザしか使用できません。ただし、all キーワードは、ルート ビュー内のユーザが、合法的傍受ビューや CLI ビュー内のユーザに使用を許可するように設定できます。</p>

トラブルシューティングのヒント

ビューが正常に作成されたら、次のようなシステム メッセージが表示されます。

```
%PARSER-6-VIEW_CREATED: view 'first' successfully created.
```

ビューが正常に削除されたら、次のようなシステム メッセージが表示されます。

```
%PARSER-6-VIEW_DELETED: view "first" successfully deleted.
```

パスワードとビューを関連付ける必要があります。パスワードを関連付けずに、**commands** コマンド経由でビューにコマンドを追加しようとすると、次のようなシステム メッセージが表示されます。

```
%Password not set for view <viewname>.
```

合法的傍受ビューの設定

このタスクを実行して、ビューを初期化し、合法的傍受固有のコマンドと設定情報用に設定します

前提条件

合法的傍受ビューを初期化する前に、**privilege** コマンド経由で権限レベルが 15 に設定されていることを確認します。

制約事項

レベル 15 権限を持っている管理者またはユーザだけが合法的傍受ビューを初期化できます。

手順の概要

1. **enable view**
2. **configure terminal**
3. **li-view li-password user username password password**
4. **username [lawful-intercept] name [privilege privilege-level | view view-name] password password**
5. **parser view view-name**
6. **secret 5 encrypted-password**
7. **name new-name**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable view</code> 例: Router> enable view	ルート ビューを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、権限レベル 15 パスワード (ルート パスワードなど) を入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<code>li-view li-password user username password password</code> 例: Router(config)# li-view lipass user li_admin password li_adminpass	合法的傍受ビューを初期化します。 li-view が初期化されたら、 user username password password options 経由で少なくとも 1 人のユーザを指定する必要があります。
ステップ 4	<code>username [lawful-intercept [name] [privilege privilege-level view view-name] password password</code> 例: Router(config)# username lawful-intercept li-user1 password li-user1pass	シスコ デバイス上で合法的傍受ユーザを設定します。
ステップ 5	<code>parser view view-name</code> 例: Router(config)# parser view li view name	(任意) ビュー コンフィギュレーション モードに入ります。このモードでは、合法的傍受ビューのパスワードや名前を変更できます。
ステップ 6	<code>secret 5 encrypted-password</code> 例: Router(config-view)# secret 5 secret	(任意) 合法的傍受ビューの既存のパスワードを変更します。
ステップ 7	<code>name new-name</code> 例: Router(config-view)# name second	(任意) 合法的傍受ビューの名前を変更します。 このコマンドが発行されなかった場合、合法的傍受ビューのデフォルト名は「li-view」になります。

トラブルシューティングのヒント

合法的傍受ビューにアクセス可能なすべてのユーザに関する情報を表示するには、**show users lawful-intercept** コマンドを発行します (このコマンドは、認可された合法的傍受ビュー ユーザしか使用できません)。

スーパービューの設定

このタスクを実行して、スーパービューを設定し、スーパービューに少なくとも 1 つの CLI ビューを追加します。

前提条件

CLI ビューをスーパービューに追加する前に、スーパービューに追加する CLI ビューがシステム内で有効なビューであることを確認します。つまり、ビューが、**parser view** コマンド経由で正常に作成されたことを確認します。

制約事項

スーパービューにビューを追加するには、スーパービューに対してパスワードを設定する必要があります (**secret 5** コマンド経由)。その後で、ビュー コンフィギュレーション モードで **view** コマンドを発行して、少なくとも 1 つの CLI ビューをスーパービューに追加します。

手順の概要

1. **enable view**
2. **configure terminal**
3. **parser view *superview-name* superview**
4. **secret 5 *encrypted-password***
5. **view *view-name***
6. **exit**
7. **exit**
8. **show parser view [all]**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable view 例: Router> enable view	ルート ビューを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、権限レベル 15 パスワード (ルート パスワードなど) を入力します。
ステップ 2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	parser view <i>superview-name</i> superview 例: Router(config)# parser view su_view1 superview	スーパービューを作成して、ビュー コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ 4	secret 5 <i>encrypted-password</i> 例: Router(config-view)# secret 5 secret	CLI ビューまたはスーパービューとパスワードを関連付けます。 (注) このコマンドを発行しなければ、ビューのその他のアトリビュートが設定できません。
ステップ 5	view <i>view-name</i> 例: Router(config-view)# view view_three	正常な CLI ビューをスーパービューに追加します。 特定のスーパービューに追加する各 CLI ビューに対して、このコマンドを発行します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	<code>exit</code> 例: Router(config-view)# exit	ビュー コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 7	<code>exit</code> 例: Router(config)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 8	<code>show parser view [all]</code> 例: Router# show parser view	(任意) ユーザが現在使用しているビューに関する情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> all: ルータ上で設定されたすべてのビューに関する情報を表示します。 <p>(注) このコマンドはルート ユーザと合法的傍受ユーザの両方が使用できますが、all キーワードはルート ユーザしか使用できません。ただし、all キーワードは、ルート ビュー内のユーザが、合法的傍受ビューや CLI ビュー内のユーザに使用を許可するように設定できます。</p>

ビューとビュー ユーザのモニタリング

すべてのビュー (ルート、CLI、合法的傍受、およびスーパー) に関するデバッグ メッセージを表示するには、特権 EXEC モードで `debug parser view` コマンドを使用します。

ロールベースの CLI アクセスの設定例

- 「例: CLI ビューの設定」(P.9)
- 「例: CLI ビューの確認」(P.10)
- 「例: 合法的傍受ビューの設定」(P.11)
- 「例: スーパービューの設定」(P.12)

例: CLI ビューの設定

次の例は、"first" と "second" の 2 つの CLI ビューの設定方法を示しています。その後で、実行設定内で CLI ビューを確認できます。

```
Router(config)# parser view first
00:11:40:%PARSER-6-VIEW_CREATED:view 'first' successfully created.
Router(config-view)# secret 5 firstpass
Router(config-view)# command exec include show version
Router(config-view)# command exec include configure terminal
Router(config-view)# command exec include all show ip
Router(config-view)# exit
Router(config)# parser view second
00:13:42:%PARSER-6-VIEW_CREATED:view 'second' successfully created.
Router(config-view)# secret 5 secondpass
Router(config-view)# command exec include-exclusive show ip interface
```

```
Router(config-view)# command exec include logout
Router(config-view)# exit
!
!
Router(config-view)# do show run | beg view
parser view first
secret 5 $1$MCMh$QuZaU8PIMP1ff9sFCZvgW/
commands exec include configure terminal
commands exec include configure
commands exec include all show ip
commands exec include show version
commands exec include show
!
parser view second
secret 5 $1$iP2M$R16BXKecMEiQesxLyqygW.
commands exec include-exclusive show ip interface
commands exec include show ip
commands exec include show
commands exec include logout
!
```

例：CLI ビューの確認

CLI ビューの "first" と "second" を設定したら、**enable view** コマンドを発行して、各ビュー内で使用可能なコマンドを確認できます。次の例は、ユーザが CLI ビューの "first" にログイン後に、どのコマンドがこのビュー内で使用可能かを示しています (**show ip** コマンドは **all** オプションと一緒に設定されているため、**second** ビュー内で **include-exclusive** キーワードを使用している **show ip interface** コマンドを除く、すべてのサブオプションのセットが表示されます)。

```
Router# enable view first
Password:

00:28:23:%PARSER-6-VIEW_SWITCH:successfully set to view 'first'.
Router# ?
Exec commands:
  configure  Enter configuration mode
  enable     Turn on privileged commands
  exit       Exit from the EXEC
  show       Show running system information

Router# show ?

  ip          IP information
  parser      Display parser information
  version     System hardware and software status

Router# show ip ?

  access-lists      List IP access lists
  accounting         The active IP accounting database
  aliases           IP alias table
  arp               IP ARP table
  as-path-access-list  List AS path access lists
  bgp              BGP information
  cache            IP fast-switching route cache
  casa             display casa information
  cef              Cisco Express Forwarding
  community-list    List community-list
  dfp              DFP information
  dhcp            Show items in the DHCP database
  drp             Director response protocol
```

```

dvmrp          DVMRP information
eigrp          IP-EIGRP show commands
extcommunity-list  List extended-community list
flow          NetFlow switching
helper-address helper-address table
http          HTTP information
igmp          IGMP information
irdp          ICMP Router Discovery Protocol
.
.
.

```

例：合法的傍受ビューの設定

次の例は、合法的傍受ビューの設定方法、ビューへのユーザの追加方法、および追加されたユーザの確認方法を示しています。

```

!Initialize the LI-View.
Router(config)# li-view lipass user li_admin password li_adminpass
00:19:25:%PARSER-6-LI_VIEW_INIT:LI-View initialized.
Router(config)# end

! Enter the LI-View; that is, check to see what commands are available within the view.
Router# enable view li-view
Password:

Router#
00:22:57:%PARSER-6-VIEW_SWITCH:successfully set to view 'li-view'.
Router# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
Router(config)# parser view li-view
Router(config-view)# ?
View commands:
  commands  Configure commands for a view
  default   Set a command to its defaults
  exit      Exit from view configuration mode
  name      New LI-View name      ===This option only resides in LI View.
  no        Negate a command or set its defaults
  password  Set a password associated with CLI views

Router(config-view)#

! NOTE:LI View configurations are never shown as part of 'running-configuration'.

! Configure LI Users.
Router(config)# username lawful-intercept li-user1 password li-user1pass
Router(config)# username lawful-intercept li-user2 password li-user2pass

! Displaying LI User information.
Router# show users lawful-intercept

li_admin
li-user1
li-user2
Router#

```

例：スーパービューの設定

次の **show running-config** コマンドのサンプル出力は、"view_one" と "view_two" がスーパービューの "su_view1" に追加され、"view_three" と "view_four" がスーパービューの "su_view2" に追加されていることを示しています。

```
!
parser view su_view1 superview
 secret 5 <encoded password>
 view view_one
 view view_two
!
parser view su_view2 superview
 secret 5 <encoded password>
 view view_three
 view view_four
!
```

その他の参考資料

関連資料

内容	参照先
Cisco IOS コマンド	『 Cisco IOS Master Commands List, All Releases 』
セキュリティ コマンド	『 Cisco IOS Security Command Reference 』
SNMP、MIB、CLI 設定	『 Cisco IOS Network Management Configuration Guide, Release 15.0 』
権限レベル	「 Configuring Security with Passwords, Privilege Levels and, Login Usernames for CLI Sessions on Networking Devices 」 モジュール

規格

規格	タイトル
なし	—

MIB

MIB	MIB リンク
なし	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェア リリース、および機能セットの MIB の場所を検索しダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

RFC

RFC	タイトル
なし	—

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テクニカル サポートを受ける • ソフトウェアをダウンロードする • セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける • ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> - Product Alert の受信登録 - Field Notice の受信登録 - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索 • Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する • トレーニング リソースへアクセスする • TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>

ロールベースの CLI アクセスの機能情報

表 1 に、この機能のリリース履歴を示します。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator を使用すると、ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 1 には、一連のソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入されたソフトウェア リリースだけが記載されています。その機能は、特に断りが無い限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

表 1 ロールベースの CLI アクセスの機能情報

機能名	リリース	機能情報
ロールベースの CLI アクセス	12.3(7)T 12.3(11)T 12.2(33)SRB 12.2(33)SB 12.2(33)SXI Cisco IOS XE 3.1.0SG	この機能は、ネットワーク管理者が、CLI と設定情報へのユーザ アクセスを制限できるようにします。 12.3(11)T で、インターフェイス単位レベルでユーザ アクセスを制限するように CLI ビュー機能が拡張され、拡張されたビュー機能をサポートするために新しい CLI ビューが導入されました。また、設定された CLI ビューをスーパービューにグループ分けするためのサポートが導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • commands (view)、enable、i-view、name (view)、parser view、parser view superview、secret、show parser view、show users、username、および view の各コマンドが導入または変更されました。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2004–2010 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved

Copyright © 2004–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.